

年末年始の「ごみ収集」と「し尿くみ取り」

期 日	ごみ収集	し尿くみ取り	個人での直接持ち込み	
			燃やす・可燃性粗ごみ クリーンの森合志 ☎096(248)0330	資源物・不燃物・不燃性粗ごみ 環境美化センター ☎096(293)1222
24日(金)まで	平常どおり	平常どおり	8:30～正午、13:00～17:00 平常どおり	
25日(土)	休 み	休 み	8:30～17:00 年末特別開放日	
26日(日)	休 み	休 み	8:30～17:00 年末特別開放日	
27日(月)	平常どおり	要予約(※④)	8:30～17:00 年末特別開放日	
28日(火)	平常どおり	要予約(※④)	8:30～17:00 年末特別開放日	
29日(水)	平常どおり	休 み	8:30～17:00 年末特別開放日	
30日(木)	平常どおり	休 み	8:30～17:00 年末特別開放日	
31日(金)	休 み	休 み	8:30～17:00 年末特別開放日	休 み
令和4年1月 1日(土)～3日(月)	休 み	休 み	休 み	
4日(火)から	平常どおり	平常どおり	8:30～正午、13:00～17:00 平常どおり	

※注意事項

- ①ごみ収集が休みの期間は、絶対にごみを出さないでください。
- ②特別開放日は、正午から午後1時の間も持ち込み可能です。
- ③個人でクリーンの森合志や環境美化センターに持ち込む場合は、受付時間が午後5時までのため、時間に余裕を持ってお願いします。搬入量に応じて処分手数料が必要な場合もあります。詳しくは、ごみカレンダーをご覧ください。
- ④年末に「し尿くみ取り」を依頼する場合は、12月24日(金)午後5時までに、(有)日野環境☎096(293)2156にご連絡ください。
- ⑤ごみ搬入車両は4トン車以下に限ります。

おおづのしごと

大津町企業連絡協議会 vol.27

**あそおおづ
阿蘇大津ゴルフクラブ**

沢山の人に楽しんでもらえるゴルフ場
を目指して！

当社では今、終生にわたり健康増進を図ることができるゴルフを年代や性別に関わらず多くの人にスポーツ・レジャーとして楽しんでいただくことを目的としています。

そのためにも、誰もが気軽に楽しめる価格とサービスを保ち、より良いコースコンディションを維持することに注力しています。

ポストコロナの新しい時代においてもここに妥協することなく、テクノロジーを積極的に取り入れ時代に合わせて変化していくことで、ご来場の皆さまの期待に応えていくゴルフ場を目指してまいります。



クラブハウス




18番ホール

【企業概要】

- 所在地 大津町大字瀬田711
- 業 種 ゴルフ場
- 従業員数 50人
- 事業内容 ゴルフ場の運営
- 連絡先 ☎096(293)1500
- ホームページ <https://www.next-golf.jp>

連載「人権シリーズ企画」
「あそおおづ」の男女

●問い合わせ
役場人権推進課 男女共同参画推進係
☎096(293)0863



大津町男女共同参画審議会
委員 佐藤 真二 さん

男女共同参画審議会には、町議会代表として参加しています。そうすると、どうしてもこの稿では「なぜ女性議員が少ないのか」ということに触れなければなりません。

「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」という法律があることをご存じでしょうか。この法律は議員立法でできたもの、つまり、議員や政党が「自ら決めた」ものです。その中で「政党その他の政治団体は、男女の候補者数の目標設定」が努力義務となっています。

下段の表は、主な政党が掲げている目標と、令和3年10月の衆院選での実績です。どの政党も自分たちで決めた法律の要請に応えることさえしていません。そもそも女性候補者を立てなければなりません。

〈主な政党の女性候補者擁立の目標と実績〉

政党名	目標	実績
自民	なし	9.8%
立民	当面は3割	18.3%
公明	なし	7.5%
共産	50%	35.4%
維新	なし	14.6%
国民	35%	29.6%

※目標：令和3年6月時点（立民・国民は再編前設定）
※実績：令和3年10月の衆院選での女性候補者割合
出典：総務省および内閣府男女協働参画局資料

一方、大津町では女性議員は1人で、これまで2人以上になったことはありません。選挙のたびに、女性の立候補の噂が聞こえてきますが、家族や周囲の反対で断念したとあって立ち消えになる事例も多いようです。まずは女性の立候補に「反対しない」ことが重要なようです。

れば、女性議員が増えるはずもないのに。

11/16 第2回 公立保育等再編検討委員会

協議内容の詳細
はこちら▶



●問い合わせ 役場子育て支援課 入園支援係 ☎096(293)5981

「第2回大津町公立保育等再編検討委員会」が開催され、「公立園の在り方」と「公立園の在り方を実現する再編の方向性」について協議しました。

●公立園の在り方（意義・役割）

3つのポイント

- ①幼児教育の拠点
- ②子育て支援の拠点（セーフティネット・在宅で子育てする家庭への支援）
- ③幼稚園機能と保育園機能の保持

●公立園の在り方を実現する再編

方向性は「段階的な整備」です。公立3園の利用園児は約260人です(令和4年予定)。260人の受け皿を確保し、段階的に整備を行い、幼児教育の拠点を目指します。

- 第1段階▶公立園3園を2園に再編する。
- 第2段階▶公立園として町の幼児教育の拠点を旨す。2園を1園に再編する。

※再編時には、受け皿の確保(特に0～2歳児の受け皿)、在園児・保護者に負担がかからないよう配慮します。
※令和4年度から変わるということではありません。今後の方針によって、改めてスケジュールを示します。

●委員会での意見

- ・地域バランスを考えた子育て支援拠点。遊具のある公園。雨の日に遊べる場の確保。
- ・地域の保育所などのリーダーというより、お互いに学び合うような関係の調整役・まとめ役に。
- ・建物の老朽化は課題。
- ・地域に密着した公立の強みを生かす。

- ・配慮の必要な子どもに、公立だからできる支援を。
- ・子どもたちに必要な場所になってほしい。現状を良くしようと検討していることを住民が理解できるように情報発信してほしい。など

「公立園の在り方を考えるワークショップ」(意見抜粋)

●開催日(参加者) ①11/1(19人) ②11/9(22人)
公募枠の参加者、公立園の保育士・幼稚園教諭などにより、各班で活発な意見が交わされていました。

●公立園に期待すること(公募参加者)

- ・発達段階に応じた教育・保育・地域の要(リーダー)
- ・待機児童の受け皿
- ・選択の幅を広げる(公立・私立、幼稚園・保育園、認定こども園、小規模保育所など多岐の選択肢)
- ・公立園＝町の顔
- ・ふるさとのことを誇りに思える園 など

●公立園に求められること(公立園保育士・幼稚園教諭など)

- ・自園の子どもだけでなく、町全体の子育て家庭を支える
- ・子育ての悩みを聞く相談機能
- ・町内保育施設の教育・保育の中心的存在(質の向上)
- ・医療的ケアを要する子どもの受入れやその家族に対する支援
- ・幼保等、小、中の連携だけでなく、地域全体での見守り体制
- ・関係機関や教育委員会との連携 など